

科 目 名	情報科教育法Ⅱ				
配 当 学 年	3 年	必修・選択	選択	CAP制	対象外
授 業 の 種 類	講義	単 位 数	2 単 位	授業回数	15
授 業 担 当 者	小松川 浩		単位認定責任者	小松川 浩	
実務経験の有無	無				
実務経験のある教員名および授業の関連内容					
授業科目の概要	本講義では、教科情報を指導する上で、必要となる具体的な指導方法について学ぶとともに、ICT活用による授業を行える実践力の養成を目的とする。このため、第一に、教科「情報」の基本的な教授領域に関する指導方法について、情報基礎からインターネット応用まで幅広く学習する。次に、こうした教授領域を実際に想定して、情報メディア教材を自分で作成し、授業実践を行えるように学んでいく。適宜、外部評価を加えながら、実践的な指導能力の養成を図る。				
授業科目の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報の科学的理解に関する教材を作成できる。</li> <li>2. 情報とメディアに関する教材を作成できる。</li> <li>3. 情報モラルに関する教材を作成できる。</li> <li>4. 情報活用に関する教科指導を行うための基本的な知識・技能を身につけることができる。</li> <li>5. 基本的な技能に基づき、授業実践を試行できる。</li> </ol>				
学修成果評価項目(%)および評価方法	項目	割合	評価方法		
	基礎学力	30 %	CBT の実施		
	専門知識	30 %	CBT の実施		
	倫理観	10 %	振り返り		
	主体性	20 %	課題達成状況		
	論理性	%			
	国際感覚	%			
	協調性	%			
	創造力	%			
責任感	10 %	最終課題の発表			
授業の展開					
1.	ガイダンス				
2.	実習中心の授業運営（ICT の効果的活用）				
3.	授業環境の整備（ICT 活用含む）				
4.	学習目標と学習評価				
5.	授業づくりのヒント-事例紹介				
6.	教材・教具の研究				
7.	模擬実習①計画立案				
8.	模擬実習②制作				
9.	模擬実習③成果発表				
10.	指導上の課題				
11.	学習指導計画				
12.	学習指導案の意義				
13.	学習指導案の立案・制作				
14.	学習指導案の発表				
15.	模擬授業				

授業外学習について	高校の情報の内容に関連するEラーニング教材を自学自習する。中間テストでは、この内容の試験を課す。これに合格しない場合には、単位は付与しない。				
教科書	文科省 公式サイト (予定教材案) <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416756.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1416756.htm</a>				
参考文献	なし				
試験等の実施	定期試験	その他のテスト	課題・レポート	発表・プレゼンテーション	取組状況等
	○	×	○	○	○
成績評価の割合	30 %	0 %	20 %	20 %	30 %
成績評価の基準	本学の評価基準に基づき、成績評価を行う。 秀 (100~90点)、優 (89~80点)、良 (79~70点)、可 (69点~60点)、不可 (59点~0点)				
試験等の実施、成績評価の基準に関する補足事項					

(情報科教育法Ⅱ)